

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特性対応型）

(実施期間：令和2～令和7年度)

実施機関：兵庫医科大学（総括責任者：野口 光一）

取組の概要

背景・目的 医学生女性の比率は増加の一途で有り、ライフイベントでキャリア継続を断念する傾向がある。社会的に損失は大きく、医療レベルの維持をも揺るがす。ライフイベントに向き合う女性の医師・研究者としてのキャリア継続とさらなる向上を支援することを目的とする。

目標・取組の概要 キャリア継続とさらなる向上を支援の目的で、以下を実践する。①「生活環境」の整備と向上は、まずヒアリングを行い、個別対応で保育・介護支援を計画する。②研究環境は、研究補助的支援に重点を置く。学内に研究チームネットワークを置き学生の研究医コースとも連携し人的交流も図る。復職者に対する、予備的な知識向上を目指しwebを駆使し医学情報の発信を行うことで不安を解消し、徐々に実地に戻れるシステムを構築する。③さらに研究力向上を目的に科研費取得に向け基礎、統計専門家チームも合同で積極的介入を行う。④次世代育成は既存の研究医コースに加え、学生グループワークによるダイバーシティ教育を活性化、若手医師に対するマネジメント力養成研修を実施する。⑤意識啓発は重要な案件である。特に医師は、日本古来の男性優位社会であり、執行部を中心に年6回の細部に行き届くよう、問題解決型の小セミナーを開催予定⑥広報活動を行い、女性の自立さらに同僚男性医師への啓蒙活動も含めて強化する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	b	a	b	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

若手女性医師・研究者がライフイベントを機にキャリア継続を断念する傾向があり、また、女性教員、特に女性主任教授や女性臨床・教育教授が少ないという課題に対処するため、研究環境整備、研究力向上、次世代育成、意識啓発等の取組を総合的に展開したことは評価できる。若手研究者や上位職研究者、さらにライフイベントからの復職者を含めた幅広い女性研究者を対象とした「ダイバーシティ推進研究助成制度」、学内の優れた女性研究者の上位職登用促進を目指した「ダイバーシティプロジェクト教員制度」、若手研究者の育成と情報交換を目指した「オンライン抄読会」等、特色ある取組を構築し運用を進めた。「ダイバーシティ推進研究助成制度」は既に成果が挙がっているものの、着手したばかりの取組や推進途上の取組が未だあり成果は限定的である。今後は意欲的な最終目標の達成に向けスピード感を持って取組を進めるとともに、より実効性の高いポジティブ・アクションの実施を検討することを期待する。

- ・**目標達成度**：指導的地位の女性割合 35%（教授 15%、准教授 25%）という意欲的な最終目標の達成に向け取組を進め、女性教授 2 名、准教授 1 名を増加させたことは評価できる。しかしな

がら、准教授の女性割合や指導的地位の女性割合は目標を大幅に下回っており、最終目標達成の見通しが立っていない。今後は、最終目標の達成に向け如何なる方策が必要か再検討し、実効性の高いポジティブ・アクションを立案することを期待する。

- **取組:**「オンラインカンファレンスシステムの導入」といった新たな研究環境整備の取組に加え、若手女性研究者を支援する「キャリア応援研究助成制度」、女性上位職教員を支援する「リーダーシップ向上研究助成制度」、ライフイベント等により研究を中断した女性研究者の復帰・復職を支援する「スタートアップ研究助成制度」等の取組が順調に進められたことは評価できる。
- **取組の成果:**全国公募により女性主任教授2名を採用し、教授の女性割合を上昇させたこと、ライフイベントからの復職者を含めた幅広い女性研究者を対象とした「ダイバーシティ推進研究助成制度」の支援により女性研究者の研究力を向上させ、研究業績の向上や昇任へ繋げたことは評価できる。しかしながら、着手したばかりの取組や推進途上の取組が未だあり、取組の成果は限定的である。
- **実施体制:**学長を本部長とし人事担当理事や病院長、事務局長等により構成される「ダイバーシティ推進本部」及び事業実施母体である「ダイバーシティ推進室」を設置し、全学的な実施体制を構築したことは評価できる。
- **今後の進め方:**学長のリーダーシップの下、最終目標の達成へ向け「ダイバーシティプロジェクト教員制度」の効率的な運用を進め、また、各講座にダイバーシティ担当者を配置し講座間の情報共有を図る学内ネットワーク構築を進めており評価できる。女性医師・研究者の支援に対する学内の理解が進みつつあり、今後のさらなる取組の展開により確実に成果を挙げることを期待する。